

第2回東村山駅西口公益施設運営検討会

日時:平成18年10月3日(火)庁議室 午後7時~

出席者:委員12名(欠席3名) ほか

議題

1) 第1回東村山駅西口公益施設運営検討会議事録の確認

2) 東村山市事業の現状について(説明)

【保険年金課長】保険事業について

【高齢介護課長】介護事業について

【産業振興課長】産業振興について

質疑

【委員】介護施設に市民優先枠はあるのか

【高齢介護課長】強制力はないが、誘導はしている。

【委員】高齢者率が高いのは、若年層の減少か高齢者の増加か。

【高齢介護課長】本市、清瀬市の高齢者率が高い。共通要因として施設が多いことが影響しているのではないか。

【高齢介護課長】基本健診では要介護・要支援状態の恐れのある特定高齢者層を発現するのは難しい。要介護対象ではないが機能維持の訓練を要する潜在人口は多いと考える。

3) 東村山市駅西口地区再開発ビル内公益施設の概要について

【事務局】西口公益施設検討の経緯、概要について説明。

【委員】施設の開放時間は終電までか。

【委員】2階の産業関連施設のスペースは有人か。

【委員】三基のエレベーターの機能などはどうか。

4) フリーディスカッション

【委員】少子化社会をどう捉えるか、少ないから乳幼児対象施設はいらなくても、市の考え方はどうなのか。西口公益施設の中でもそうした考え方を反映できないか。例えば、子どもの一時預かり、親子のちょっとした休憩所など。

【委員】駅は非常に人が多いため、乳幼児連れの母親は大変に疲れる。小平にある大型スーパーなどはそうしたちょっとした休憩スペースがあり、大変に重宝がられている。ぜひ検討してみてはどうか

【委員】当会の目的はわかるが、委員の責任と権限はどうなっているのか。

【事務局】当検討会は、諮問機関的な位置づけである。会の中で意見を出すだけでなく、それを市民に告知しパブリックコメント等で意見を求めるなど一定の責任と権限をもった組織としたい。

【委員】駅前の利便性というのを明確にしてほしい。東村山駅利用者の実態は、市内移動は車や自転車が多いと思うが。

【事務局】市の鉄道網を見ると、市内の各駅から東村山駅へは、乗り換えなどがあり多少の不便は感ずるが、人口集積は期待できる。グリーンバスルートの中核にな

ることも予想され、利便性のある立地条件と考えている。

(まとめ)

東村山駅利用者実態や人口動態など、基礎資料を充実させ、論議したい。  
(次回に年齢3区分人口推移を事務局から提出する)。

施設の開設時間、人的配置などは今後協議する。

次回、エレベーター機能、構造など公益施設平面図に関して補足する。

次回の検討会の公開・非公開については協議内容決定後検討会で判断する。

次回 11月6日(月)午後7時～ 未定